

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 28 年 6 月 1 日	
所属部局・職	アジア・アフリカ地域研究研究科（博士一貫課程）博士課程学生
氏名	大塚亮真

<b>1. 派遣国・場所</b> （〇〇国、〇〇地域）
鹿児島県熊毛群屋久島
<b>2. 研究課題名</b> （〇〇の調査、および〇〇での実験）
屋久島実習/野生動物・行動生態野外実習
<b>3. 派遣期間</b> （本邦出発から帰国まで）
平成 28 年 5 月 21 日 ～ 平成 28 年 5 月 27 日（7 日間）
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> （〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏）
京都大学野生動物研究センター 屋久島観測所
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> （研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由）
<p>今回は屋久島実習に参加し、鹿児島県の屋久島を訪れた。今年の屋久島実習はサル班、シカ班、イチジク班に分かれており、私はサル班に所属し屋久島のニホンザル（<i>Macaca fuscata yakui</i>）の生息域（高地/低地）と腸内細菌（相）の消化能力の関係について調べるため、フィールドで糞の採取とラボで実験を行った。</p> <p>【日程】</p> <p>5月21日：出町柳からバスで伊丹空港へ、伊丹から飛行機で屋久島空港へ。</p> <p>5月22日：西部林道にてニホンザルの糞の採取/ラボで実験</p> <p>5月23日：ラボで実験/西部林道にてニホンザルの糞の採取</p> <p>5月24日：高地（西部）にてニホンザルの糞の採取/ラボで実験</p> <p>5月25日：ラボで実験/データ解析、発表準備</p> <p>5月26日：発表準備、発表会、打ち上げ</p> <p>5月27日：掃除、観光、屋久島空港から飛行機で伊丹空港へ、伊丹空港からバスで出町柳へ</p> <p>今回の屋久島実習で私はサル班に所属し、フィールドでは低地と高地のサルの糞を採取し、ラボで実験を行った。私は低地2回、高地に1回行き、それぞれ糞の採取を行うことが出来た。実験のメインはニホンザルの糞に含まれる腸内細菌の消化能力を、発酵開始から24時間後までの6時間ごとのガスの発生量を計測することで評価するというものであった。例えば17時に発酵を開始した場合は23時、翌5時、11時、17時にガス発生量を計測した。実験は自転車操業的に行われ、新しく糞の採取をしてくるとそのサンプルの発酵の準備をしたりまた次のガス発生量の測定をしたりと大忙しであったが、とても充実していた。なにより苦勞の甲斐あってか予想されていた通りの見事な結果が得られたことがとても嬉しかったし、自分の採取した糞のサンプルから実験データが出現し最終的にグラフとなって可視化される過程に興奮を覚えた。実験は機器や材料が足りなかったりしてかなり大変であったが、その場にあるものでなんとか工夫をすることで危機的状況乗り越えていこうという精神（運も大事だが）も学ぶことが出来た。この精神は今後自分がフィールドで行き詰まった時に役立つと思う。</p>
写真（必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの）の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

屋久島実習の公用語は英語であった。招聘者の方々と英語で交流しフィールドワーク／実験を行い、議論を重ねてプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションの内容や方法について英語で議論を交わし一緒に何かをやり遂げるといった経験は今まで無かったかもしれない。このような機会が頻繁にあると日頃の語学学習のモチベーションがかなり上がるので語学力アップにとっても効果的だと思った。英語でのコミュニケーションでは綺麗な英語でなくてもちゃんと伝わること、簡単な表現と知っている単語で十分な議論が出来ることを学んだ。これからも英語を使うことを恐れずに、どんどん失敗しながら勉強していこうと思う。



観測所前の浜（ウミガメが産卵に来る）



空と海の色が美しい



白谷雲水峡にて



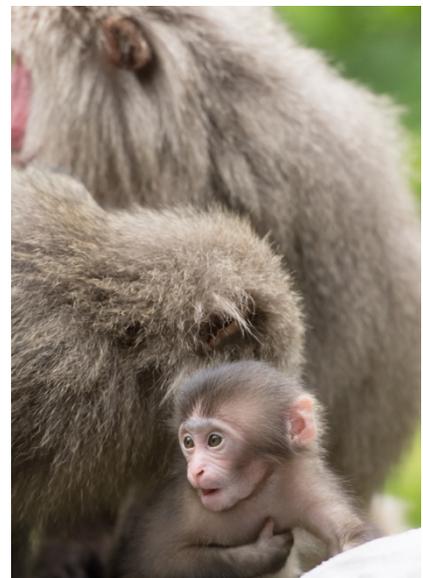
おっぱいを吸うアカチャン



ハグするヤクザル



目が合う



オトナの隙間から顔を出すアカチャン

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

### 6. その他 (特記事項など)

今回の実習へは PWS の協力により参加することが出来ました。実習期間中、ご指導していただきました半谷先生、牛田先生、沢田さん、西川さんには大変感謝しております。また実習に参加されていたその他の先生方と観測所に滞在されていた方々、学生・招聘者のみなさんにも大変感謝しております。